



もど
母に成る

—6人の子どもを育てた 母でありセラピストが語る—

木下 智子

はじめに

今、社会は女性の社会進出を大きく掲げて、働き、子を産み、そしてまた働き！ という状況にあります。

仕事をしたくしてしている女性、生活のために働く女性、働きたくても働けない女性、専業主婦でいることを選ぶ家事子育てにいそしむ女性……。

子どもに対する想いも多様化して、一概にこれが正解という子育てはありません。

私はそもそも子どもが苦手だったのに、どういうわけか子宝に恵まれ、苦しい思いをしながらも、なんだかんだ20年間、お母さんをやっています。

四男二女、個性もバラバラの子どもたち。

子育てしているようで、私自身の成長につながりました。

この本を読んで、共感することも反対意見を言いたくなることもあると思います。とはいえ子どもが一人ひとり違うように、子どもへの接し方も、親の個性も違うもの。自分はどう思う？ どうする？ と考えてみるのが大切だと思います。

子どものお母さんはあなた一人です。

周りの意見を参考にすることはあっても、それに流されたり飲み込まれたりしないで、「お母さん」というかけがえない存在を楽しく幸せな気持ちでやりきってほしいと思います。